



「共に生きる社会」

北海道北見支援学校長 千葉 聡 美

今年4月に函館養護学校から赴任しました千葉です。どうぞ、よろしくお願いいたします。

前任は肢体不自由を主とする学校でした。肢体不自由と言っても、皆さんがイメージされるように、全員が車いすや歩行器を使っているわけではなく、歩行が不安定でも自分で歩ける子、装具は付けていますが走る子もいて、いたってアクティブな子ども達が大半です。その9割以上が知的障がい併せ持っていました。同様に、盲学校には全盲の子どもばかりがいるわけではなく、本校のように知的障がいの学校にも肢体不自由を併せ持っている子ども達もいますし聾学校も然りです。このように、複数の障がいを併せ持っている状態を重複障がいと言います。それぞれの特別支援学校は専門とする障がいはありますが、その障がいの程度も幅が広く、特に困難度が高い場合は重度と言われます。現在の特別支援学校の課題の一つが、この重度化と様々な障がいを併せ持つことによる多様化に応じた教育内容・方法の在り方です。特別支援学校といえども、環境は整っていますが一人一人のニーズに応じた教育を提供することは容易なことではありません。まして、通常学級や特別支援学級で学んでいる子ども達のニーズに応じた教育をどうしたらよいか、困難を極めるのは当然です。特別支援教育の時代になって、障がいがあるかないかを線引きしたり、障がいがあるから支援することではなくなりました。様々な事情で困っている子どもがいることに気づき、どんな支援を必要としていて、どうすることで活動と参加の機会を保障できるのか、『合理的配慮』を検討することが求められています。

また、今年4月から『障害者差別解消法』が施行されました。これによって、我が国はすべての国民が障がいの有無によって分け隔てられることなく、共に人格と個性を尊重し合う『共生社会』を目指すことを宣言しました。しかし、法ができて社会や人の心の有り様は追い付いていません。

この相談支援部通信「With」でも、特別支援教育や行政にまつわる情報を発信して、少しずつですが共生社会に近づくための情報発信ができればと思います。また、この通信以外にも特別支援教育学習会・研修会を開催いたします。ぜひ、これらの研修会にも参加していただき、子ども達の成長を共に考えていければと願っていますので、どうかよろしくお願いいたします。

本校の教育相談のご案内

本校では、就学前（幼稚園・保育園）、小・中学校、高等学校のお子さんについての相談を受け付けています。

お子さんについてお悩みがありましたら、お気軽にご相談ください。

- 発達全般に関すること
- 言葉に関すること
- 友達関係や行動での心配なこと
(友達と上手に遊べない、落ち着きがない等)
- 学習や生活について心配なこと
- お子さんの進路について 等

また、教育や保育等の現場で心配を抱えている先生方への相談にも応じています。

- ☆学習や行動面への支援方法について
- ☆教材・教具について
- ☆「個別の指導計画」や「個別の教育支援計画」の作成や活用について
- ☆校内・園内支援の体制等に関すること
- ☆特別支援教育全般について 等

必要に応じて、訪問相談もいたします。
また、電話相談にも応じています。
本校に来校することが難しい場合は、お気軽にご相談ください。



昨年度の教育相談件数について

(1) 教育相談の内訳（平成28年3月31日現在：データはのべ数）

教育相談件数：333件（昨年度340件）

<内訳>

来校相談：63件
訪問相談：266件
電話相談：4件
その他：0件

<校種別>

小学校：201件
中学校：67件
高等学校：33件
就学前(幼稚園)：26件
特別支援学校：1件
その他：5件

平成27年度パートナー・ティーチャー派遣事業申請状況

小学校 22校
中学校 8校
高等学校 7校
幼稚園 1校
計38校（昨年度4校増）

今年度の特別支援教育学習会・研修会のご案内

今年度の特別支援教育学習会・研修会の予定は以下のとおりです。都合により変更があるかもしれませんので、近くなりましたら、本校HPでご確認ください。たくさんの方々の参加をお待ちしています。

<特別支援教育学習会>

- | | | |
|-----|----------|---|
| 第1回 | 4月25日（月） | 「今年度初めて特別支援学級を担当する先生方のための研修講座」
「高等学校の先生方のための研修講座」
～対人関係に苦手さがある生徒への対応について～ |
| 第2回 | 6月30日（木） | 「支援の必要な生徒への進路指導について」
～中学校、高等学校の事例を通して～ |
| 第3回 | 8月26日（金） | 「特別支援教育コーディネーターの先生方のための情報交流会」 |
| 第4回 | 12月1日（木） | 「体の動きに苦手さのある子どもの理解と支援について」 |
| 第5回 | 1月30日（月） | 「次年度に向けた『個別の教育支援計画』の作成と活用」
「次年度に向けた『個別の指導計画』の作成と活用」 |

<夏季研修会>

- 7月29日（金） 午前
「幼稚園・保育園の先生方のための夏季研修会」
～個別の教育支援計画の作成と活用～
7月29日（金）：午後
「子ども理解に役立つ心理検査の理解と活用」

<秋季研修会>

- 9月30日（金）
「通常の学級に在籍する学習に心配のある児童生徒への支援について～主に小・中学校の先生方対象～」

<冬季研修会>

- 12月27日（火） 午前
「幼稚園・保育園の先生方のための冬季研修会」
～体の動きに心配のある幼児への理解～
12月27日（火） 午後
「子ども理解に役立つ心理検査の理解と活用」



自立活動の指導・相談について

本校には自立活動教諭が1名配置されています。姿勢や運動、日常生活動作の課題に対する自立活動の指導・相談のほか、視知覚、認知面や健康状態の把握等の相談・支援業務も行っております。

上記のお子さんのことでお困りのことやご質問がありましたら、お気軽にご相談ください。（担当 佐野）

本校コーディネーターの紹介

今年度の本校特別支援教育コーディネーターです。どうぞよろしくお願いいたします。

久戸 優（専任）	佐藤 未央（小学部）	和崎 裕子（小学部）
太田健二郎（中学部）	折 久美（中学部）	佐野 映司（自立活動）
高野りつ子（進路担当）	仲江由弥華（保健担当）	

<お問い合わせ先>

電話・FAX/0157-61-0047 E-mail/kitamishien-z1@hokkaido-c.ed.jp
担当/教頭（菅野） 相談支援部（久戸、佐藤、太田）